

12 月 17 日 : 警戒姿勢が継続し VN 指数は 3 営業日続落

年末の休暇を前に市場の見通しがはっきりしないことから、火曜日も市場は続落した。

ホーチミン市場の VN 指数は 0.77% 下落し 954.03 ポイントで引けた。同指数は金曜日 から 1.46% 下落した。

出来高は 2 億 81 百万株、売買代金は 4.5 兆ドン (1 億 9,440 万ドル) だった。

昨日は様々なセクターの株式が売られ下落した。

MB 証券 (MBS) によると、今後数日で ETF がポートフォリオの再構築を完了すること、先物が期日を迎えることなどから投資家に不透明感が広がったようである。

同社によると、投資家は大型株から手を引き、中小型株に乗り換える機会をうかがっているとのことである。

大型株で構成する VN30 指数、中型株の VNMID 指数、小型株の VNSML 指数は 0.04 ~1.05% 下落した。

タインコン証券 (TSSC) のデイリーレポートによると、あと 2 週間足らずで 2019 年末を迎えることから、投資家が慎重姿勢になっていることが火曜日の相場でも明らかになったとのことである。

アメリカがベトナムの鉄鋼製品に対し最大 456% の関税を課すことを決定したことで、鉄鋼株は大きく売られた。

これは台湾や中国で生産された鉄鋼製品が、第 3 国であるベトナムを経由して輸出されている疑いがあることから決定されたものである。

2 大鉄鋼メーカーである HPG、HSG はそれぞれ 2.5%、3.9% 下落し、建設資材セクターの指数は 1.7% 下落した。

VRE、HDB、SSI、FPT、GMD などの大型株も下落した。

TCSC は、VN 指数が年内は 950~960 ポイントで推移すると見ている。

投資家は好決算が予想される銀行、小売、不動産などに目を向けるだろうと同社は見ている。

ハノイ取引所では、HNX 指数が 0.31% 下落し 102.90 ポイントで引けた。

同指数は 12 月 11 日から 16 日までの間に 1.15% 上昇していた。

出来高は 5,060 万株、売買代金は 3,670 億ドンとなった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。